



# OnTime<sup>®</sup> GROUP CALENDAR

for Microsoft(Ver.4.1-)

アップグレードマニュアル

クイック & ステップ バイ ステップ

OnTime Group Calendar Direct Shop

2021/03/01

# 目次



- アップグレード後の確認事項(ver.4.1.x) p. 3
- プログラムの配置 p. 7
- 現行バージョンのアンインストール p. 9
- 新バージョンへアップグレード p. 1 2



# Ver.4.0.x以前から Ver.4.1.xへの作業時の注意事項

# Ver.4.1.xへのバージョンアップ時にご確認ください。



- Ver.4.1.xはクライアントの見た目はあまり大きな変化はありませんが、サーバーとしては比較的大きなバージョンアップを行っております。特に以下の2点について再確認をお願いいたします。
- Tomcat のメモリ設定を「バックエンド設定」に追加しました。  
OnTime のプログラムは Apache Tomcat というアプリケーションサーバー稼働しています。  
Ver.4.1.xから Tomcat が Windows から確保するメモリプールを OnTime 管理センターから設定できるようになっています。必ず環境に合わせて設定してください。
- ドメイン接続の OAuth 認証と Teams 連携用認証設定を統合し「ドメイン設定」に集約しました。  
Microsoft は2021年後半には Exchange Online に接続する際に OAuth 認証による接続しか許可しなくなります。もちろん現在は従来からの基本認証も利用できますが以下の2つの機能を利用するには OAuth 認証は必須となります。
  - Microsoft Teams と連携して Teams 会議を利用する場合。
  - 会議室のビル階数や定員などを取得して検索に利用する場合。

# バックエンド設定のTomcatメモリの設定



The screenshot shows the OnTime Admin interface. The left sidebar has a menu with 'バックエンド' (Backend) highlighted. The main content area shows various settings. At the bottom, the 'Tomcat メモリヒープサイズ設定' (Tomcat Memory Heap Size Settings) section is highlighted with a yellow box. It contains two input fields: '最小メモリヒープサイズ' (Minimum Memory Heap Size) set to 1,024 MB and '最大メモリヒープサイズ' (Maximum Memory Heap Size) set to 2,048 MB. A yellow arrow points from the text on the right to this section.

- OnTimeで使用するTomcatのメモリヒープサイズの最小値と最大値を指定できます。

デフォルトでは  
最小メモリヒープサイズは2048MB  
最大メモリヒープサイズは4096MB  
と指定されています。

もしサーバーの物理メモリが8GB以上で余裕がある場合は  
最小メモリヒープサイズは3072MB  
最大メモリヒープサイズは6144MB  
でも構いません。  
但しOnTimeのパフォーマンスはSQLやネットワークにも依存  
しますのでご注意ください。

# ドメイン設定の該当ドメインの状態を確認



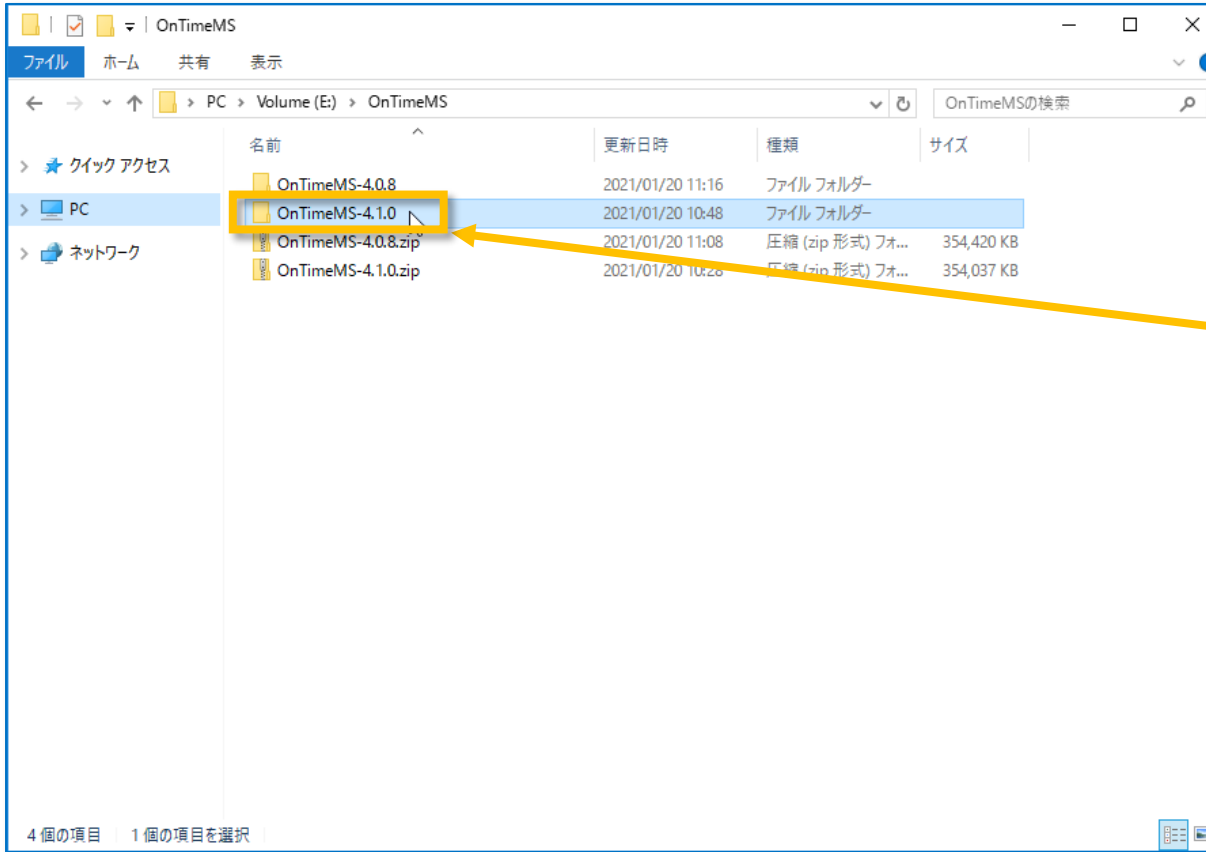
OnTime Admin console screenshot showing domain status. The 'OnTimeDemo' domain is 'STOPPED' with an error message: 'エラー: com.ontimesuite.ontime.ms.v2.web.api.v2.ApiErrorException: Error: Authentication Tokens is expired. Refresh ...'. The 'ontimebiz' domain is 'RUNNING' with a message: 'レガシー認証が使用されています。2021年夏までに先進認証に変更を検討してください。'

- インストール完了後にドメイン設定画面を開きます。
- 該当ドメインが「STOPPED」でエラーメッセージが表示されている場合は「ドメイン設定マニュアル」を確認の上設定を完了してください。
- 基本認証の場合はそのまま利用できますが、移行を促すメッセージが表示されます。
- 但し以下の場合は必ずOAuth認証で設定して利用してください。
  - Microsoft Teams と連携して Teams 会議を利用する場合。
  - 会議室のビル階数や定員などを取得して検索に利用する場合。



# プログラムの配置

# プログラムの配置



- 「OnTime Group Calendar for Microsoft」用プログラムを配置します。
- 初回インストール時と同様に新しくインストールするプログラムをダウンロードしてzipファイルを展開して配置します。

以下のリンクからプログラムをダウンロードします。  
<https://ontimesuite.jp/forms/downloads/>  
ダウンロード後フォルダを展開します。  
展開したフォルダ名OnTimeMS-x.x.x

- 展開したフォルダは現行バージョンのアンインストール手順実施後に使用します。

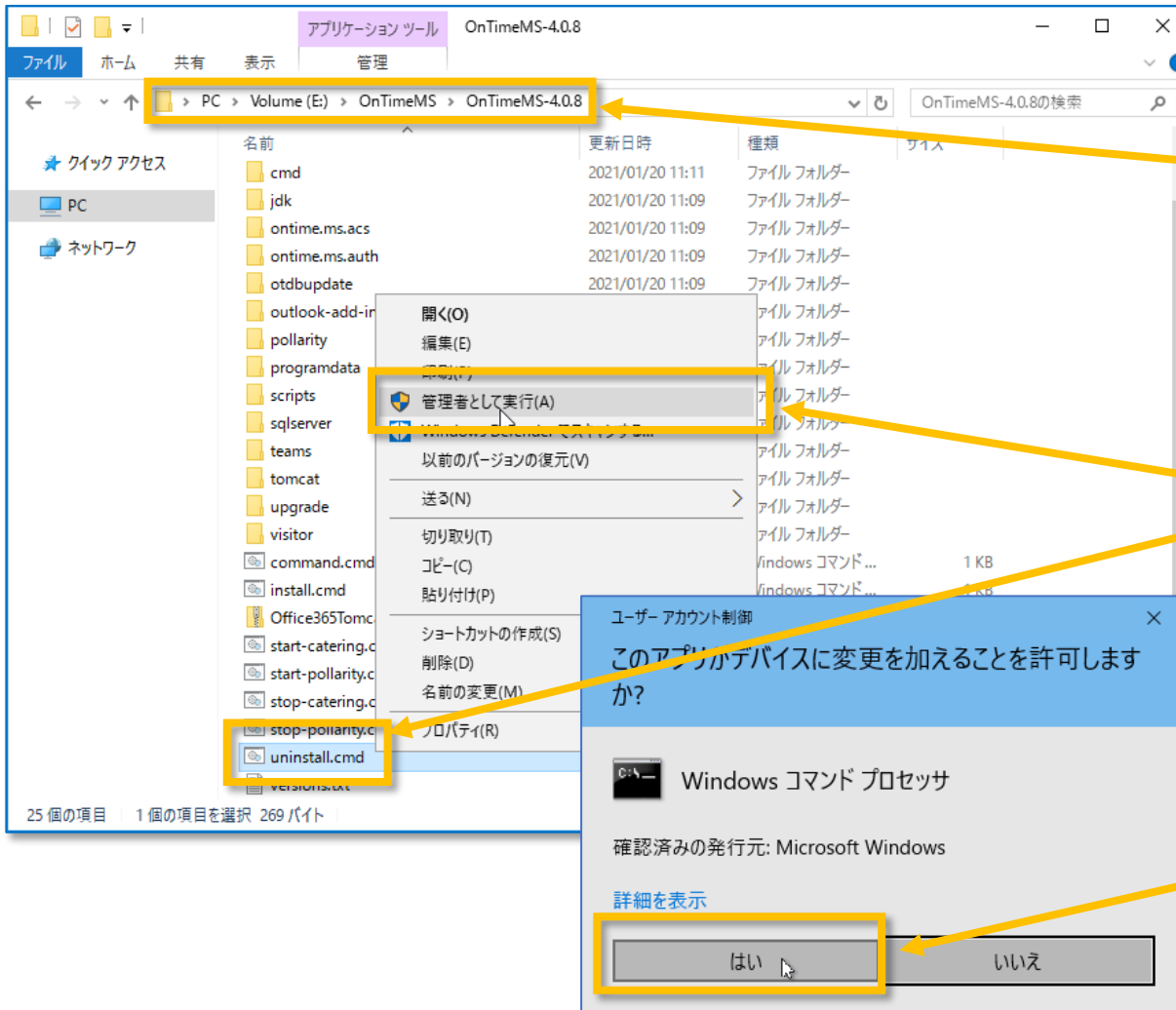
※各作業は初回インストール時同様にドメイン管理者でログインして実行してください





# 現行バージョンのアンインストール

# 現行バージョンのアンインストール



- 現行バージョンの「OnTime Group Calendar for Microsoft」をアンインストールします。

現行バージョンのフォルダを開きます。

- 先ほど配置した新しいプログラムのフォルダではなく現行のフォルダを開きます。

“uninstall.cmd”ファイルを選択しマウス右ボタンメニューから管理者として実行します。

アンインストールの確認画面(UAC画面)が開きますので「はい」をクリックします。

# (参考)約 1 分程度のOnTimeアンインストール画面



```
C:\windows\System32\cmd.exe
WIN32_EXIT_CODE : 0 (0x0)
SERVICE_EXIT_CODE : 0 (0x0)
CHECKPOINT : 0x2
WAIT_HINT : 0xbb8

E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>sc delete "ontime.ms.auth"
続行するには何かキーを押してください . . .

E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>call shared-var.cmd

E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>set CATALINA_HOME=
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>set CATALINA_BASE=
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>set JRE_HOME=
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>set JAVA_HOME=E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\jdk

E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>set PATH=E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\jdk\bin;C:\windows\system32;C:\windows;C:\windows\System32\Wbem;C:\windows\System32\WindowsPowerShell\v1.0\;E:\99.Toru\OPENSSL\OpenSSL-Win64\bin;E:\Program Files\Microsoft SQL Server\Client SDK\ODBC\130\Tools\Binn\;E:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\130\Tools\Binn\;E:\Program Files\Microsoft SQL Server\130\Tools\Binn\;E:\Program Files\Microsoft SQL Server\130\DTSBinn\;C:\Users\otdadmin\AppData\Local\Microsoft\WindowsApps

E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\tomcat\bin>CALL service.bat uninstall
Removing the service 'Tomcat8' ...
Using CATALINA_BASE: "E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\tomcat"
The service 'Tomcat8' has been removed
続行するには何かキーを押してください . . .
```

- コマンドプロンプトが開きアンインストールバッチが走り出します。
- 以下のメッセージが表示されたらエンターキーを押してください。「続行するには何かキーを押してください」
- 「削除したファイル - ...」の文字が表示されると、コマンドプロンプトが消え、処理が完了します。

補足)  
念のため、タスクマネージャーでTomcat(Apache Commons Deamon Service Runner)が消えることを確認してください。

```
C:\windows\System32\cmd.exe
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>sc delete "ontime.ms.auth"
[SC] DeleteService SUCCESS
続行するには何かキーを押してください . . .

E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>call shared-var.cmd

E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>set CATALINA_HOME=
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>set CATALINA_BASE=
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>set JRE_HOME=
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>set JAVA_HOME=E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\jdk

E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\cmd>set PATH=E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\jdk\bin;C:\windows\system32;C:\windows;C:\windows\System32\Wbem;C:\windows\System32\WindowsPowerShell\v1.0\;E:\99.Toru\OPENSSL\OpenSSL-Win64\bin;E:\Program Files\Microsoft SQL Server\Client SDK\ODBC\130\Tools\Binn\;E:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\130\Tools\Binn\;E:\Program Files\Microsoft SQL Server\130\Tools\Binn\;E:\Program Files\Microsoft SQL Server\130\DTSBinn\;C:\Users\otdadmin\AppData\Local\Microsoft\WindowsApps

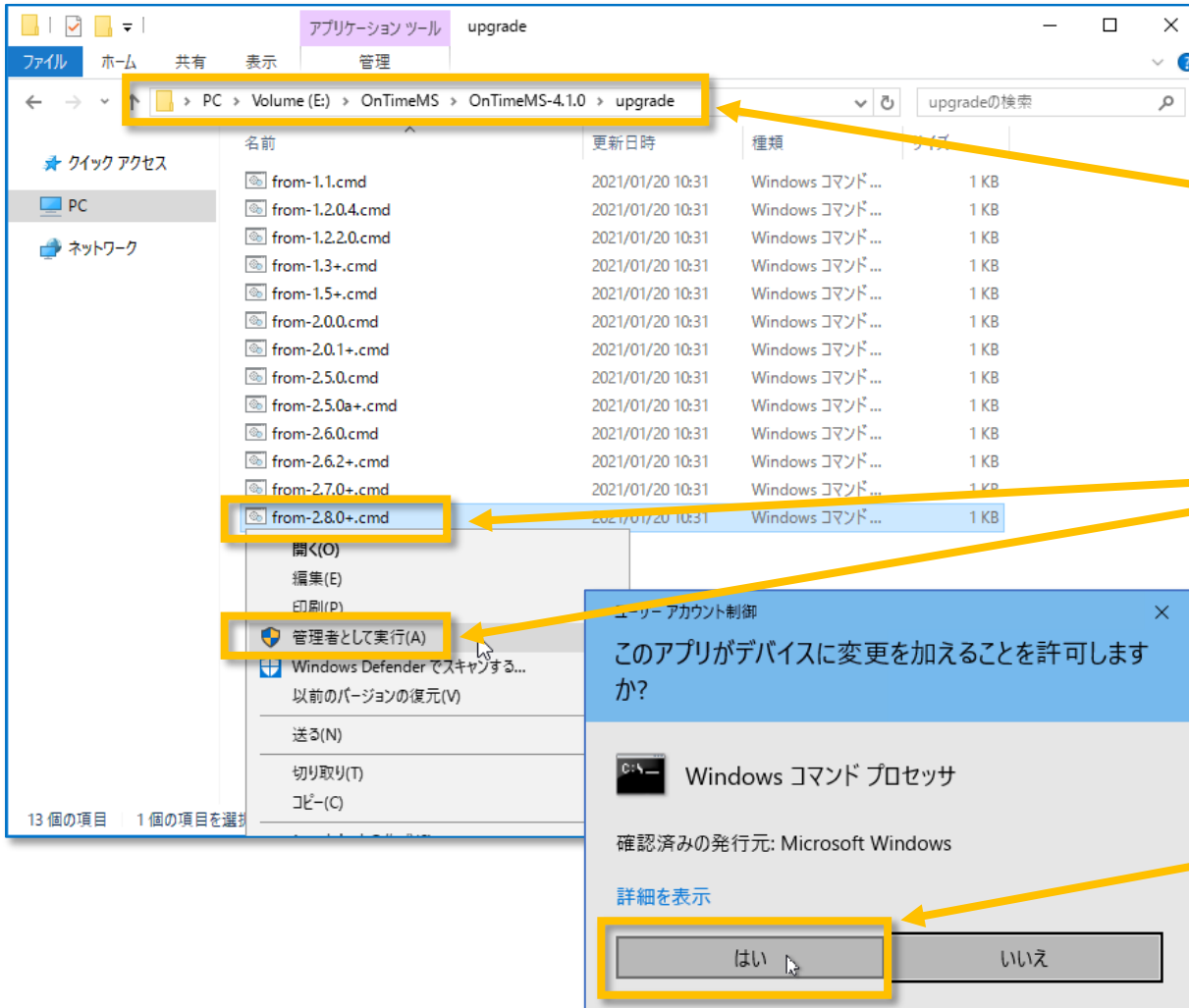
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\tomcat\bin>CALL service.bat uninstall
Removing the service 'Tomcat8' ...
Using CATALINA_BASE: "E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\tomcat"
The service 'Tomcat8' has been removed
続行するには何かキーを押してください . . .
削除したファイル - E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.0.8\tomcat\webapps\pool1-ms-backend.war
Pollarity was successfully removed
Catering was successfully removed
Visitor was successfully removed
```

名前	CPU	メモリ
Task Manager	0.6%	10.6 MB
エクスプローラー (9)	0%	54.8 MB
バックグラウンド プロセス (32)		
Antimalware Service Executable	0%	147.9 MB
Apache Commons Daemon Service Runner	0%	1,469.8 MB
COM Surrogate	0%	2.3 MB
COM Surrogate	0%	2.0 MB



# 最新バージョンへアップグレード

# 最新バージョンへアップグレード



- 「OnTime Group Calendar for Microsoft」をアップグレードします。

事前に展開しておいた最新プログラムの配置フォルダを開き upgrade フォルダに移動します。

展開したフォルダ¥OnTimeMS-x.x.x¥upgrade

“from-2.8.0+.cmd”ファイルを選択しマウス右ボタンメニューから管理者として実行します。

※現行バージョンが2.8.0より古いバージョンの場合は該当するファイルを実行します。

アップグレードの確認画面(UAC画面)が開きますので「はい」をクリックします。

# (参考)約 1 分程度のOnTimeアップグレード画面 1

```
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\upgrade>pushd "E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\upgrade\..\\"
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0>PowerShell -ExecutionPolicy Bypass -Command "& './scripts/from-2.8.0+.ps1'"
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0>pushd "E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\scripts\"
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\scripts>set THIS_SCRIPT_DIR="E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\scripts\"
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\scripts>set ERROR_LEVEL=0
```

```
E:\OnTimeMS\OnTimeMS-4.1.0\cmd>call prompt-for-sql-backup-path.cmd
Sql Server backup folder is set to 'C:\SqlServerBackups' press 'y' to accept and 'n' to enter new folder: y
```

```
Input your new administrator password (and it cannot be Innovation): [REDACTED]
Please type your administrator password again to confirm: [REDACTED]
```

- コマンドプロンプトが開きアップグレードバッチが走り出します。
- 「Sql Server... new folder:」のメッセージが表示されます。SQLサーバーのバックアップ先をデフォルトから変更する必要がなければ y と エンターキーを押してください。変更する場合は n と エンターキー を押して、任意のフォルダパスと エンターキー を入力してください。以後のデフォルトに設定されます。

※Ver.3.7以前からアップグレードを実施する場合、パスワードを変更する必要があります。以下のメッセージが表示されたらパスワードを指定してエンターキーを押してください。  
「Input your new administrator ...」

「Please type your administrator ...」のメッセージが表示されたら、再度同じパスワードを指定してエンターキーを押してください。

再度パスワードを変更したい場合は以下のURLリンク先を参照してパスワード変更を行ってください。

<https://www3.ontimesuite.jp/change-password>

# (参考)約 1 分程度のOnTimeアップグレード画面 2



```
Current version of schema [dbo]: 22
Schema [dbo] is up to date. No migration necessary.
Do you want to enable pollarity? (y/n) :
y_
```

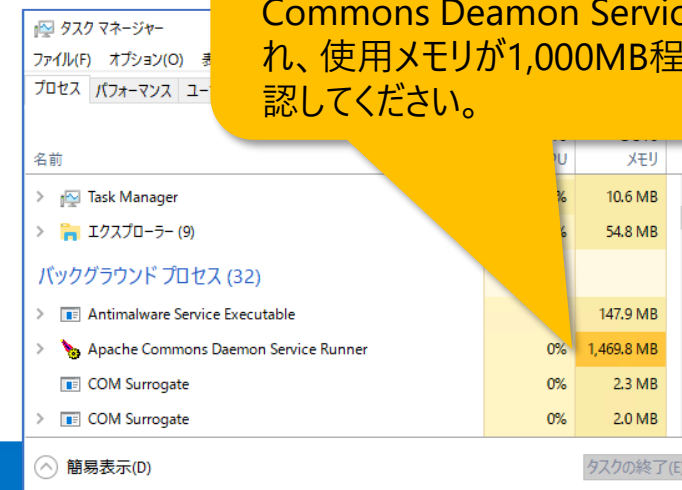
- 以下のメッセージが表示されたらそれぞれ y と Enterキーを押してください。  
「Do you want to enable pollarity? (y/n) :」  
「Do you want to enable catering? (y/n) :」  
「Do you want to enable visitor? (y/n) :」

```
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.da.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.de.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.en.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.en_us.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.es.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.fr.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.it.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.ja_jp.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.ja_jp_su.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.no.json
..¥webapps¥visitorManager¥web¥lanreg¥region.sv.json
26 個のファイルをコピーしました
Visitor was successfully started
```

- 「Visitor was successfully started」の文字が表示されると、コマンドプロンプトが消え、処理が完了します。

補足)

念のため、タスクマネージャーでTomcat(Apache Commons Daemon Service Runner)が表示され、使用メモリが1,000MB程度まで増えるのを確認してください。





# バージョンの確認



The screenshot shows the OnTime Admin interface. A modal window titled "OnTimeについて" is open, displaying the OnTime logo and the text "Version 4.1.0" and "管理 22.10 (20210118-0856)". The background interface shows various system status indicators and settings.

- アップグレードされた事を確認します。

OnTime 管理センターで画面をリロードします。閉じている場合はログインして画面の右上の歯車アイコンをクリックします。

画面上の「OnTimeについて」をクリックします。

インストールしたバージョン情報が表示されていることを確認します。

- バージョン確認後、ダッシュボードから各Sync処理を実行してください。

補足)

アップグレードが完了したら、OnTimeの旧バージョンのフォルダは削除しても問題ございません。TomcatもOnTimeの最新バージョンにバンドルされたバージョンが実行されます。